

インターンシップ「スタディツアー」開催

～学生の発想が職員への刺激に～

人事課 川口 達也

企画立案型のインターンシップ、スタディツアーを9月8日から2日間にわたりオンラインで開催しました。

テーマは「障害者が作った商品をビジネスに変えよ」です。4回目となった今回は、新型コロナウイルスの状況を考慮し、昨年に引き続きオンラインで開催し、12人の大学生が参加しました。

従来型の就業体験ではなく、新商品・新ビジネスの開発や企画などを行い、経済的な自立を目的とした利用者支援について学ぶ場も設けました。

また、オンライン開催を生かして、学生からのプレゼンテーションを全事業所で視聴可能な環境を整えました。



▲学生のプレゼンを視聴する職員

参加した学生からは「2日間を通してグループワークをすることで、座学で学ぶよりも深く、尾道さつき会について知ることができた」「新たな学びが多くあり、実りの多い2日間だった」といった感想が寄せられました。

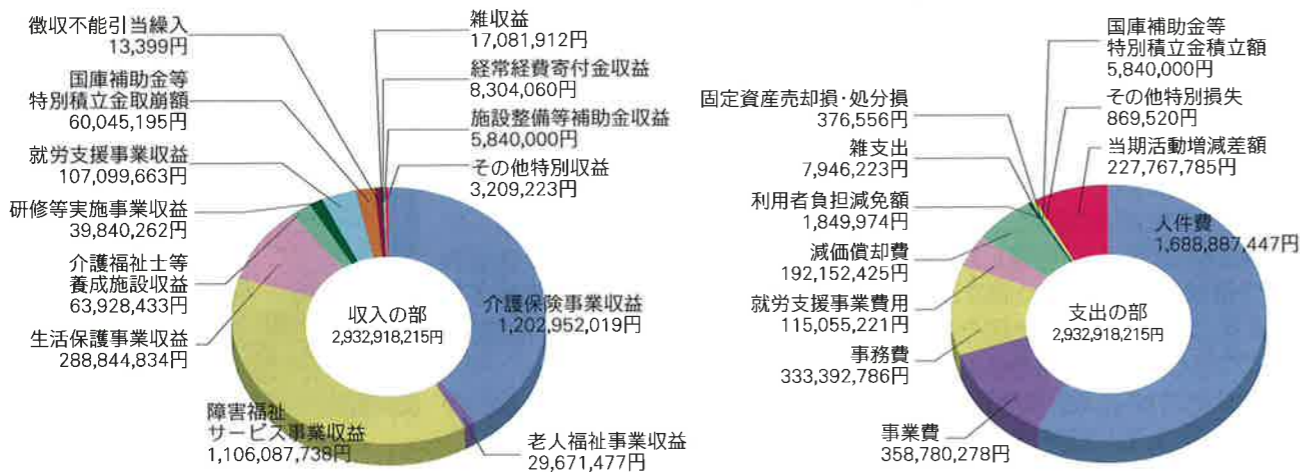
プレゼンテーションをオンライン視聴した職員からは、「新しい発想に驚いた。勉強になった」「楽しそう。自分も参加してみたい」などの感想が寄せられました。

このスタディツアーでは、福祉について知る機会や実習では味わえない福祉の一面を知る機会を提供しています。インターンシップを通して福祉事業の理解が深まるよう、今後も開催していきます。



▲オンラインでグループワーク

2020年度 尾道さつき会収支状況



*詳細は尾道さつき会ホームページをご覧ください。

ダルマ型の植木が変身★

皆さんに楽しんでもらえたらと思い、季節に合わせて飾りつけをしています。尾道福祉専門学校の前門入って右手側の植木です。さまざまな姿に変身する植木を今後もお楽しみに。



寄付者一覧

(2021年5月～2021年8月 順不同・敬称略)

- <寄付金> 万福寺仏教婦人会 村上義明 胡井幸子 村上美鈴
- <寄付物品> 山一楠青果 岩本光平 能宗真子 宮前麻世 貸谷孝之 匿名1名

編集後記

尾道の特産品、無花果(いちじく)。栄養素が豊富で“不老長寿の果物”とも言われているそうです。尾道のみなさんがパワフルなのは、無花果の力かもしれないですね。そんな無花果の旬も過ぎ、少しずつ涼しくなってきました。体調を整えて、準備万全で冬を迎えましょう! Y.S



第72号
令和3年11月

発行 社会福祉法人
尾道さつき会

広島県尾道市久保町1786番地
TEL (0848) 37-7272
FAX (0848) 37-9610
http://www.satukikai.com
E-mail:hoshinosato@satukikai.com

安全・安心の介護を目指して

～人とロボットが支援する現場に～

尾道サンホーム 仲本 明洋

尾道サンホームは開所から31年が経過しました。経過とともに利用者さんも年齢を重ね、車いすを使用する方、ベッドから車いすへの移乗に介助が必要な方など、介護を必要とする方が増えています。それに伴い、近年では職員の身体的・精神的負担も増加傾向にありました。

この問題を少しでも軽減できるよう、当施設では広島県による「令和2年度障害福祉サービス事業所等デジタル技術導入支援事業費補助金」を活用し「移乗サポートロボットHug」と「マッスルスーツ」を7月に導入しました。この事業はロボット技術の活用により、介護支援の負担軽減を図り、働きやすい環境の整備や安全で安心な障害福祉サービスの提供を推進するため、障害者支援施設等が介護ロボットなどを導入する際の支援を目的としています。

ロボット自体が利用者さんを支える役割をする「Hug」は、移乗時に介助者の腰への負担がほとんどありません。「マッスルスーツ」は装着型ロボットで、人工筋肉に一定量の空気を入れることにより、介助者の立ち上がりや前かがみなどの動作を補助する役割があり、利用者さんを抱える際の腰への負担が軽減されます。



▲移乗サポートロボット Hug



▲Hugを使用することで安全に移乗できます



▲電力不要でどこでも使えるマッスルスーツ



▲マッスルスーツを安全に使うための研修を実施

利用者さんの安全を第一に考え、使いこなすまで何度も研修を行いました。実際に使用した職員からは「利用者さんも自分も無理な姿勢にならず腰の負担が減った」「利用者さんがバランスを崩して転倒しそうになることが減った」といった声が多く、高い効果を感じています。

尾道サンホームでは今後もさまざまなICT(情報通信技術)を導入し、利用者さんも職員も安全で安心なサービスの提供に努めていきます。

夏はやっぱりかき氷

デイサービスセンター星の里 山下 清文

8月初旬、夏の風情を少しでも楽しんでもらおうと、利用者の皆さんにかき氷を提供しました。

昔懐かしいかき氷機の「ガリガリ、ガリガリ」という氷を削る音に、利用者さんも興味津々。注文に応じて「抹茶」や「練乳」「あんこ」を添えました。氷を口にのけると、「夏は、やっぱり氷だよ」「甘くておいしい」「懐かしいね」と、ニッコリ。つかの間の涼を楽しめました。

今後も感染症対策をしながら利用者さんに喜んでいただける行事を企画していきます。



氷には抹茶・練乳・あんこを添えて

笑顔で
with コロナ



居酒屋

ちょっとごちそう

プレゼントを受け取り笑顔

「ケアハウス居酒屋」開店

ケアハウス星の里 岡崎 加歩

ケアハウス星の里では、居酒屋の雰囲気を楽しんでいただくこと、毎年8月に「ケアハウス居酒屋」を開催しています。

新型コロナウイルスの影響で、時間短縮や規模縮小など制限はありますが、ちょっと豪華な食事やレクリエーションを楽しんでもらいました。皆さんにプレゼントを渡すと笑顔があふれ、「楽しかったよ。ありがとう」と言われました。これからも、楽しんでいただける行事を行っていきます。



ダンシングヒーローで大盛り上がり!!

楽しく踊っています

ダンスで元気! マスクでも笑顔!

むかいしま作業所 野村 里奈

むかいしま作業所では、運動不足解消や音楽を楽しむことを目的に、ダンス活動をしています。感染防止のためグループを二つに分け、利用者さん同士の距離を空けています。アイドルの曲が人気で「踊りたい!」とリクエストが多く、アイドルになりきって踊っています。現在、レパートリーは8曲です。回数を重ねるごとに上手くなっている利用者さんの様子に、職員が驚かされています。マスクを付けたままのダンス活動ではありますが、いつも笑顔が溢れています。

見て、見て! できたよ~

マスクをしてでも 笑顔がいっぱい

児童発達支援センターあいあい 當山 瞳
あいあいでは、子どもたちと楽しみながら、コロナ対策に取り組んでいます。

マスクをつけることがちょっと苦手な子どもたちですが、一人の男の子がマジックでマスクに口を描き、「ガオーッ!」と怪獣に変身。それを見て、「ぼくも」「わたしも」と、瞬く間にマスク作りが始まりました。「できたよ~」と、誇らしげに自分で作ったマスクを見せてくれ、喜んでマスクをつける子どもたちが増えました。

また、「洗うと色が変わる石鹸」を使うことで、楽しみながら手洗いをしています。これからも、子どもたちの「やってみたい」という気持ちを大切にしながら、感染拡大防止に取り組んでいきます。

異業種から転職してきた職員や、福祉・医療系の学部外から入職してきた職員を紹介します。

シリーズ

JOY CHANGE たのしく転職

星の里小規模多機能型居宅介護事業所 内海 清貴

Q1 前職は何をしていましたか?

清掃事務所に勤め、地域のゴミ収集をしていました。その前はバス会社に27年間勤めていました。長距離の観光バスの運転手も経験し、バスガイドさんと一緒にマイクを持ち、乗客の方々に楽しんでいただけるよう話していました。市長さんに乗せて走ったこともあり、強く印象に残っています。無事故無違反であることにも誇りをもって勤めていました。

Q2 さつき会に入職した経緯を教えてください。

バス会社勤務時代の知り合いがさつき会におり、誘いがありました。地元尾道の土地勘や、老若男女関係なく接客してきた経験も生かせるのではないかと、入職を決めました。

Q3 前職の経験が生かされていることは?

現在、主に送迎業務に携わっており、安心していただける運転や言葉かけを心がけています。バスの運転手として、安全運転やおもてなしの心が培われていたことが、今の仕事にも役立っていると思います。また、清掃が好きで毎朝ご家族が気持ち良く送り出せるよう、利用者さんが快適に乗れる送迎車を目指して、掃除や消毒をしています。

Q4 働いてみてさつき会の良さは?

まず、利用者さんがとても優しいです。職員も話やすく親切な方ばかりで、自分も感化されて丁寧な介助を意識できています。介護未経験でも、日々楽しく仕事できることが魅力だと思います。



▲いつもピカピカに磨き上げています!

坂のまち尾道の「暮らし」に触れる

~資源回収活動を20年~ 尾道福祉専門学校 邑岡 志保

尾道福祉専門学校では、学生による資源回収活動を行っています。資源ごみを回収場所まで運ぶことが難しい高齢者に代わり、学生が訪問し回収するもので、西久保地区の民生委員の協力を得て行っています。活動は「この坂道では困っている方がおられるのでは」という学生の思いから始まり、20年が経ちました。訪問するのは1年生。高齢の方との会話も緊張気味ですが、「暑いのにありがとう」との声に学生も自然と笑顔になります。コロナ感染防止のため中止になった時もありましたが、「顔を見せてもらわんと寂しかろうよ」と電話をくださる方もおられます。

自分たちが学ぶまちを知り、そこで暮らす人達と接する機会を、これからも大切にしていきます。



▲資源ごみを運ぶ学生たち

「2022どんぐり工房カレンダー」販売開始

~テーマは「Shine Arts」~ ワークス さつき 上川 真穂

「2022どんぐり工房カレンダー」が完成しました。今年は尾道市立大学と共同で制作し、「Shine Arts」をテーマに、こだわりの色で描かれた利用者さんの絵画作品が、毎日の生活に「輝き」を添え、季節の訪れをお知らせするカレンダーとなりました。

また、記入しやすいメモ欄や見えやすい文字、冠婚葬祭に便利な六曜の表示など、実用性にも優れています。今回は卓上カレンダーとセットで税込1,000円です。

必要に応じて宅配や郵送も承ります。是非、手に取っていただきカレンダーと共に輝きのある一年をお過ごしください。



▲2022年卓上カレンダー表紙

連絡先: 尾道さつき作業所(栗田) TEL0848-23-8004